

平成 26 年度 木津川上流管内河川レンジャー会議 議 事 要 旨

(開催要領)

開催日時：平成 27 年 3 月 4 日(水) 18:30～20:30

開催場所：木津川上流河川事務所 3F 会議室

(議事次第)

1. 平成 26 年度河川レンジャー活動報告
2. 平成 27 年度河川レンジャー年間活動計画の決定
3. 今後のスケジュール
4. その他

(会議状況)

全体状況	議長挨拶	西座長進行
		
河川レンジャー説明状況①	河川レンジャー説明状況②	河川レンジャー説明状況③
		
河川レンジャー説明状況④	河川レンジャー説明状況⑤	会議状況
		

(議事内容)

1. 開会

事務局より配布資料の確認ならびに出席委員の紹介後、レンジャー会議議長より、開催の挨拶が行われた。

2. 平成 26 年度河川レンジャー活動報告

西レンジャー会議座長より議事進行のもと、はじめに河川レンジャーより平成 26 年度活動報告が行われた。(資料-1)

続いて事務局より、平成 26 年度活動・講座等で実施されたアンケート調査結果の報告が行われた。(資料-2)

西レンジャー会議座長より「活動報告 vol.5」の案内が行われた。

本議題に関しての委員よりの主な意見は以下のとおり。

○H26-3 について、COD 値が改善されているという報告があるが、ホタルが生息できる COD 値はどのくらいなのか。

→ホタルの生息に適しているのは、COD 値 2~4mg/l 程度であり、きれいであれば良いというわけではない。ホタルのエサは有機物を好むものが多いため少し汚れがあった方がよい。

○活動の募集方法はどのようにしているか。

→夏休みの活動は子供対象の活動のため、伊賀市、名張市内の小学校の全児童にチラシを配付している。川下りなど人気の活動は受付当日に定員に達してしまう。初年度よりは 2、3 年目の方が認知されており、募集の制限をどうやってかけていくかが課題である。

3. 平成 27 年度河川レンジャー年間活動計画の決定

西レンジャー会議座長より議事進行のもと、各河川レンジャーより、自身が計画実施する平成 27 年度の河川レンジャー年間活動計画(案)の説明が行われた。(資料-3)

本議題に関しての委員よりの主な意見は以下のとおり。

○河川レンジャー活動は子供を含めて楽しく行っていくのが目標か。

→「レンジャーの目的=遊び」と言われるが、子供の安全学習のために、川の中の状態、川底が滑る、川は急に深さが変わるなどを体験し、ライフジャケットの付け方などを知ってもらいたい。楽しみながら川にふれあい学んでほしい。

○近年災害が多いので、子どもたちに対して、災害の怖さ、水の怖さなど災害に関することを組み込んだ活動も計画してほしい。

→小学校の着衣水泳では危険の防止、源流探検では危険箇所の周知など、一般的な災害ではなく身近な危険について活動に組み込み進めてもらっている。

以前は防災訓練などもやっていたが、活動内容は各レンジャーが企画するので、その中で

防災や安全について組み込んでもらっている。

○参加者から参加費等は集めているか。

→参加費は集めていない。

○活動の経費を削減することはできないか。

→安全を優先するか、経費を優先するか。

安全に活動を進めるために、経験者や補助してくれるスタッフが必要である。川下りやシャワークライミングでは参加する子供 1 人に対して、保護者を含めた大人が 1~1.5 人は必要と考えており、サポートメンバーとして協力スタッフを入れている。そのため活動費用の 4 割程度がサポートメンバーとなっており、削減するとしたらその部分である。

→安全面をおさえるのは問題があるので、他の部分で経費をおさえるよう工夫して活動を実施していただきたい。

○小学校などから今まで行ってきた活動とは方向性の違う依頼が来た場合は、河川レンジャーと調整をさせていただくことは可能か。

→学校教育プログラムや自治体との連携に関しては、幅広い活動であるので進めていきたい。調整出来るものについては調整していきたい。

○H27-8 について、対象は地元の大人になっているが、活動時間が 21 時~23 時と遅い時間となっている。案内誘導灯などの支援はあるが、水源地確認の際に危険はないか。

→ホタルの飛ぶ時間帯が遅いので時間の変更は不可。水源地には柵などもあり安全対策は考えている。

○H27-8 について、必要な支援に「カルシウム関係」とあるがこれは何に使用するのか。

→本体よりもエサに主体を置いており、「ホタルのエサがあるところにホタルがよってくる」という考え方で、山のホタルのエサであるカタツムリのエサとして山林の所有者に了解を得て有機石灰を蒔いている。

○河川レンジャーの位置づけ、現在河川レンジャーは 4 名だが活動数等は適正なのか。また、河川レンジャーに期待していることは何か。

→運営要領(案)に合致していると考えているので、問題ないとする。

河川レンジャーの役割としては、住民への情報発信だけでなく、行政へも情報をあげてほしい。

○過去の参加者に対して、活動のダイレクトメールなどを出すことはしないのか。

→具体的な考えはまだないが、できる範囲で行っていきたい。

審議の結果、委員の挙手により承認され、平成 27 年度河川レンジャー年間活動計画は決定された。

4. 今後のスケジュール

西レンジャー会議座長の議事進行のもと、事務局より平成 27 年度の実施スケジュール(案)の説明が行われ、決定された。(資料-4)

本議題に関しての委員よりの主な意見は以下のとおり。

○4 月からやなせ子どもの水辺調査隊の隊員募集を行いたいがいかが。

- ・募集方法は地方情報誌に掲載および前年度の調査隊メンバーへの案内を行う。
- ・募集期間：4 月中旬～下旬、人数確認：5 月上旬、案内通知(6 月分)：5 月中旬予定
- ・実務関係はレンジャーが行い、事務局にはチラシ等の確認をしてもらう。

→4 月から募集を行ってよい。

○4 月中に募集をする場合の連絡先は河川レンジャーにしておいたほうがよい。

→連絡先は河川レンジャーで問題ない。

○5 月に活動が行われる 3 件について、事務局が未確定の場合は計画書が提出できないのではない。

→レンジャー会議にて承認を得ているので、活動を行っても問題はない。

○先ほどの意見にもあったが、伊賀市を拠点とした活動や防災関係の活動数が少ないので、新しい人の入替や、人材のピックアップ等、事務局にはアプローチの仕方をぜひ考えていてもらいたい。

審議の結果、委員の挙手により承認され、平成 27 年度実施スケジュールは決定された。

5. その他

○懇談会を行うのか。

→懇談会は、新しい検討議題がなければ開催していない。本会議資料を懇談会会員に送付後、質疑、提案等があれば開催する。

6. 閉会

事務局より、閉会の挨拶が行われた。